

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 1 区分
【発行日】令和 4 年 10 月 19 日(2022.10.19)

【公開番号】特開 2021-82520(P2021-82520A)
【公開日】令和 3 年 5 月 27 日(2021.5.27)
【年通号数】公開・登録公報 2021-024
【出願番号】特願 2019-210321(P2019-210321)
【国際特許分類】

F 2 1 V 23/04(2006.01)

10

F 2 1 S 2/00(2016.01)

F 2 1 Y 115/10(2016.01)

【F I】

F 2 1 V 23/04 5 0 0

F 2 1 S 2/00 2 3 0

F 2 1 Y 115:10

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 10 月 11 日(2022.10.11)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 面と前記第 1 面と反対側の面である第 2 面を有し、第 1 開口が形成された支持板と

、

前記支持板の前記第 1 面側に設けられた光源モジュールと、

前記支持板の前記第 2 面側に設けられ、前記支持板と対向する面に第 2 開口が形成され
たケースと、 30

前記ケースに収納され、前記第 2 開口によって前記ケースから露出する受光部と、
を備えることを特徴とする光源ユニット。

【請求項 2】

受光部は赤外線信号を受信することを特徴とする請求項 1 に記載の光源ユニット。

【請求項 3】

前記第 1 開口は、前記第 1 面と垂直な方向から見て前記第 2 開口と少なくとも一部が重
なることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の光源ユニット。

【請求項 4】

前記第 1 開口は、前記第 2 開口に対して前記第 1 面に沿った方向にずれていることを特
徴とする請求項 1 から 3 の何れか 1 項に記載の光源ユニット。 40

【請求項 5】

前記第 1 開口は、前記第 2 開口に対して隣接する他の光源ユニットと離れる方向にずれ
ていることを特徴とする請求項 4 に記載の光源ユニット。 40

【請求項 6】

前記ケースのうち前記第 2 開口が形成された面は、前記支持板の前記第 2 面と離れてい
ることを特徴とする請求項 1 から 5 の何れか 1 項に記載の光源ユニット。 40

【請求項 7】

前記ケースは、前記第 2 開口の周囲に前記ケースの内側に向かって突出した突出部を有
することを特徴とする請求項 1 から 6 の何れか 1 項に記載の光源ユニット。 50

【請求項 8】

前記ケースは、前記第 2 開口の周囲に前記ケースの外側に向かって突出した突出部を有することを特徴とする請求項 1 から 6 の何れか 1 項に記載の光源ユニット。

【請求項 9】

前記支持板の前記第 1 面側に設けられ、前記光源モジュールを覆い、前記受光部が受信する信号を透過させるカバーを備え、

前記カバーは前記第 1 開口を塞ぐことを特徴とする請求項 1 から 8 の何れか 1 項に記載の光源ユニット。

【請求項 10】

請求項 1 から 9 の何れか 1 項に記載の光源ユニットと、
前記光源ユニットを保持する器具本体と、
を備えることを特徴とする照明器具。

10

20

30

40

50